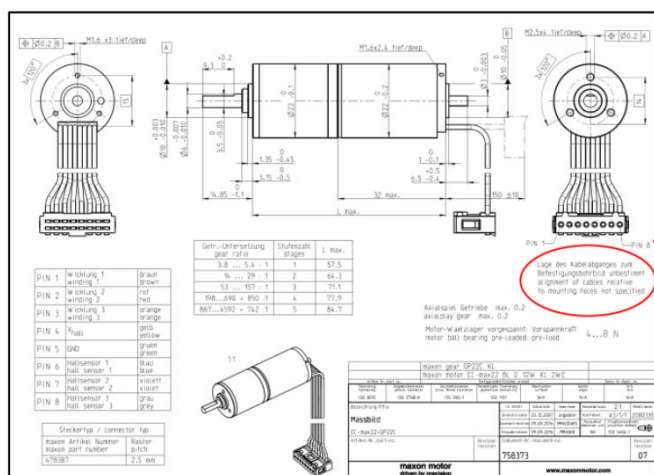


モータとギアヘッド組合せ時の、 ギアヘッド取り付け穴とケーブル出し角度の規定について

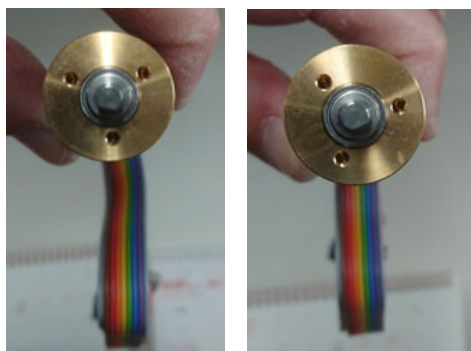
maxonではモータとギアヘッド等を組合せてご注文いただいた場合、組付けが終わった状態でお納めしております。弊社営業担当などからお渡りする組合せ図面において、ギアヘッドの取付穴に対するケーブルの出し角度が規定されていない組合せについては、筐体に取り付けた場合、ケーブルの生える角度が個体によって異なります。（同一ロットでも異なります。）



Lage des Kabelabganges zum Befestigungsbohrbild unbestimmt
alignment of cables relative to mounting holes not specified

ドイツ語（上2行）と英語（下2行）の並記。
訳：「（ギアヘッドの）取付穴に対するケーブル出し角度は規定なし」

組合せ図面上の表記



例1：EC-max22モータ+GP22Cギアヘッドの場合
（モータケーブルはどちらも下向きだが、取り付け穴の角度は異なる。同一ロット）



例2：EC-max16モータ+GP16Aギアヘッドの場合
（モータケーブルはすべて写真の右側に出ているが取付穴の角度は個体で異なる。同一ロット）

これらのモータとギアヘッドは、中間プレートを介してモータをギアヘッド側に「ねじ込んで」締結する構造であるため「締め終わりところが『固定位置』」となるためです。このため、このような角度が規定されない組合せにおいては、ケーブル出し角度が変わってもよいように設計時にご考慮していただくか、取り付けフランジ側で、角度調整用として複数取り付けパターンの穴をあけていただく、などのご対応をいただければと存じます。組合せ図面をご要望の際は、弊社までご依頼ください。